

令和8年度

## 種類別明細書（増加資産・全資産用）

所 有 者 コ 一 ド

所　　有　　者　　名	枚のう ち 枚目
株式会社 ○○建設	

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			(イ) 取得価額				耐用年数	(ロ) 減価残存率	(ハ) 価額				※課税標準の特例		※課税標準額		増加事由	摘要
					年号	年	月	十億	百万	千	円			十億	百万	千	円	率	コード	十億	百万	千	円
01	2		溶接機		5	2	10			950	000	12	0.									1. 2 3. 4	R2.10OO市より
02	6		パソコン		5	7	11			200	000	2	0.									1. (2) 3. 4	中古
03	6		パッケージエアコン		5	7	11			280	000	6	0.									1. 2 3. 4	
04													0.									1. 2 3. 4	
05													0.									1. 2 3. 4	
06													0.									1. 2	
07													0.										
08													0.										
09													0.										
10													0.										
11			【資産の種類】 以下の数字で記入してください。 1=構築物(建物附属設備含む。) 2=機械及び装置 3=船舶 4=航空機 5=車両及び運搬具 6=工具、器具及び備品		【取得年月】 3=昭和 4=平成 5=令和 (例)令和2年9月 の場合は「5020 9」となります。	【耐用年数】 法人税及び所得 税における法定 耐用年数を記入 してください。	【摘要】 課税標準の特例が摘要される資産、短縮耐用年数を摘要している資産、 増加償却、陳腐化償却を行っている資産についてその旨を記入してください。 資産の価格の決定について必要な事項がある場合や、資産が増加した事 由について特記すべき事項がある場合は、その旨を記入してください。																
12													0.									1. 2 3. 4	
13													0.									1. 2 3. 4	
14													0.									1. 2 3. 4	
15													0.									1. 2 3. 4	
16													0.									1. 2 3. 4	
17													0.									1. 2 3. 4	
18													0.									1. 2 3. 4	
19													0.									1. 2 3. 4	
20													0.									1. 2 3. 4	

注意 「取得年月の年号」の欄は、大正は2、昭和は3、平成は4、令和は5を記入してください。

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受け入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。(又は1, 2, 3, 4のいずれかの番号を上書き入力してください。)

### 種類別明細書(増加資産・全資産用)の記入例